

事業報告書

認知症当事者とその家族の居場所づくり

月に一度は真剣勝負！ 『脳トレカジノ』

<期 間> 令和3年1月1日～令和4年3月31日

<場 所> あべのハルカス近鉄本店7階街ステーション・新聞印刷本社ビル

<目 的>

認知症当事者（特に若年性認知症の方）とその家族の行き場を作り、外出のきっかけを作る。

誰でも知っているあべのハルカス近鉄本店で定期的に開催することで、買い物や食事のついでに気軽に立ち寄れる場所を作り、他者との交流を持ってもらう。

認知症を知らない・身近に感じていない人にも、同じテーブルで一緒にゲームをすることで自然と認知症当事者と関わり、認知症を他人事ではなく自分事として考えてもらうきっかけを作る。

<内 容>

①『脳トレカジノ』認知症当事者だけでなく、子供から高齢者まで一緒に楽しめるトリコロールレットやHIGH&LOWなどのゲームに、勝敗を予想しておもちゃの1万円札を賭けてもらう。獲得した賞金は専用の貯金通帳に記入し、次回の参加時に使用する。

②地域の団体等と連携し、若年性認知症当事者のバレーイベントや講座を開催。

<結 果>

新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言が出てあべのハルカス様が休業になったり、なかなかメンバー全員が参加できない状況が続いたり、毎回イベントが無事に開催できるかドキドキしっぱなしな1年でした。

認知症当事者も一般の方も「第3日曜日だけはちゃんと覚えてるよ」と楽しみに参加してくださっているので、できる限りの感染予防対策をし、あべのハルカス様が休業や開催の自粛連絡があった時には、地域の団体様や企業様のご協力を頂き、場所を変えて開催するなど、休まず開催することができました。

常連の方だけでなく、チラシを見た方、お友達に誘われて来られた方など、一年間に約300名の方がご参加くださいました。

ディーラー（ゲームの進行役）を小学生や高校生が担当してくれるなど、子ども達がボランティアとして参加してくれる日もありました。

多くの一般の健常者が、認知症当事者と同じテーブルで普通に会話をし、一緒にゲームを楽しむという、日常ではあまり見ることができない光景が当たり前前の場所になっていることがとても嬉しく、メンバー全員の励みになっています。

若年性認知症当事者のバレーイベントでは、バレーが大好きなご本人と、認知症と理解した上で試行錯誤しながらレッスンを続けてくださっている先生にご登壇頂き、認知症とわかったきっかけやご本人の想いなどをお話頂きました。後半には、実際にご本人と先生、会場の皆様と一緒に、バレーレッスン体験会を開催しました。

「認知症になっても踊れるんです。ずっと踊り続けていきたいです」と笑顔で話す当事者のお話を聞き、「元気をもらいました。」「応援しています！」など、来場者から沢山のコメントを頂きました。

「普通の人と変わらないんですね。」と仰った20代女性の言葉に、認知症を知って頂き、垣根無く交流することの大切さを改めて感じました。

脳トレカジノ



HIGH&LOW



トリコロルーレット



若年性認知症当事者のバレエイベント



元永正恵さんのお話とバレエお稽古体験会
私の夢！〜認知症バレエ団一期生〜

日時 2021年12月19日(日) 15:30~17:00
場所 あべのハルカス7階 街ステーション



秋内 優花
3歳から京都でバレエを始め、11歳より鹿点を人形に移し、後々木更智子バレエスタジオに所属中。数々の舞台にて活躍中。



元永 正恵
子どもの頃から憧れていたバレエを30歳から始める。エッセイコンテストにて受賞する。現在「ゆっくりの部屋」にてピアサポーターとして活動中。

若年性認知症のご本人である元永正恵さんのお話と、バレエの秋内先生とお稽古体験会。
昨年、若年性認知症と診断されたからのお気持ちや日常について、ポジティブなお話と、夢に向かって練習されているバレエのお稽古風景を、秋内先生と一緒に体験していただきます。歳を重ねても、体が動きにくくなったバレエと一緒に楽しめることを体験して下さい。
認知症の方もご家族も、どなたでもご参加いただき、認知症になってもいきいきと自分らしく暮らす社会について、一緒に考えましょう。

《お申込み・お問い合わせ》
一般社団法人認知症予防活動コンソーシアム
mail@niyokatsu.com
06-4303-4434 (平日 10時~17時)

